

管理所レビュー VOL.04

(R5.6.8 水源林管理所)

令和5年度の第4回ボランティア活動が、5月27日(土)に予定どおり実施されました。

当日は朝から清々しい青空となり、最高気温22度の絶好の間伐日和となりました。

新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、各地でイベントが実施されています。当日も往路ルートである圏央道相模原インター周辺で行われた国際自転車ロードレースに伴う通行止めがあり、東名高速御殿場インター経由のルートを通じたため、到着時間が通常より遅くなりましたが、無事に作業を終了することができました。お疲れ様でした！

それでは、安全活動のための水源林管理所の振り返りなどをお知らせします。

1 活動日の様子



絶好の間伐日和



準備体操しっかりと！



いってらっしゃい！



ロープは山側で引きましょう！



傾斜地での作業は注意して！



複数人で切り口確認！



動滑車使用で安全に！



大変なのでもう少し増員を！



初参加者へのレクチャー

2 ご参加、ありがとうございました！

今回の活動に、環境保全活動に積極的に取り組んでいるハイマックス株式会社様から3名が参加されました。

横浜の水源である道志村の民有林をより良い水源林とするこの活動が、環境貢献活動に積極的に取り組まれている企業、団体様などの参加により、ますます広がることを期待します。

ボランティアの会の皆さん、ご協力ありがとうございました。



ハイマックス株式会社様
(揚載許可済み)

3 「道作り」が実施されました。

作業地内の移動効率のアップと安全対策として、今年度4回目の「道作り」が実施されました。お陰様で歩きやすい道ができました。お疲れ様でした！



「道作り」選抜メンバー



「道作り」作業中



「道作り」作業後

4 基本の再確認を！

今回の間伐作業においてかかり木が発生しました。毎回のようにかかり木は発生しますが、今回はいつもと状況が異なりますので、基本の再確認と安全作業のため掲載いたします。

しかしながら、あくまで事後の状況（切り株、倒れた方向、木の形状など）から管理所職員で検証したものですので、実際と違う場合はご容赦ください。

●発生状況

スギを伐倒するため、空間の空いている横方向を伐倒目標にしてロープをかけ、受け口・追い口を切ったが、谷側に傾いたため、谷側の切り残し（ツル）を切って伐倒方向を修正しようとしたが、伐倒木が回転して目標方向から大きくずれて谷側に倒れた。

●発生原因

①伐倒木は幹が途中で変形した偏心木であったが、受け口が小さかったこと。

②追い口が低く、更に切り残し（ツル）を切りすぎたため、切り残し（ツル）が機能しなかった。

●防止対策

①伐倒木の重心を見極めること。

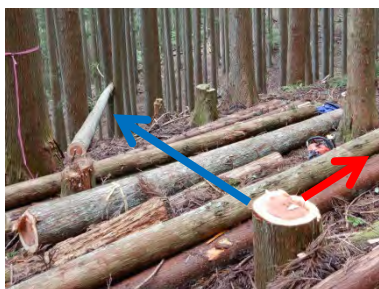
②大径木や偏心木の場合、受け口を大きく作ること。

③切り残し（ツル）は幅だけでなく高さも十分に残すこと。（追い口の高さに注意！）

※今回は、基本通りロープの引き手や他の参加者を安全な区域に配置していたため、事故は起きませんでした。目標の伐倒方向から大きくずれて倒れたことは大変危険です。

伐倒木の状況を見極め、基本に忠実に作業してください。

また、今回の伐倒木が初めから谷側に大きく傾斜していたかどうかは分かりませんが、伐倒対象木が初めから大きく傾斜している場合など、伐倒に自信がない時は切らずに残しておいてください。



赤→伐倒目標、青→倒れた方向



幅の薄い切り残し（ツル）



低い追い口



谷側の切り残し（ツル）が切られている。



幹の途中で変形した伐倒木



処理前



処理後

※ 6月9日（金）は、雨のち曇り、最高気温 22 度の予報です。

★それでは6月9日（金）、気をつけてお越しください。